

令和2年度中学校用教科用図書採択結果及び採択理由

桶川市教育委員会

採択理由 桶川市教育委員会では、第七採択地区教科用図書採択協議会の協議の結果に基づき、審議に付し、承認されたため、令和2年度使用中学校用教科用図書を以下のとおり採択しました。

教科種目名	発行者名
国 語	光村図書出版
書 写	光村図書出版
社 会 (地理的分野)	東京書籍
社 会 (歴史的分野)	東京書籍
社 会 (公民的分野)	東京書籍
地 図	帝国書院
数 学	東京書籍
理 科	教育出版
音 楽 (一般)	教育芸術社
音 楽 (器楽合奏)	教育芸術社
美 術	開隆堂出版
保健体育	大修館書店
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂出版
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂出版
英 語	開隆堂出版

第七採択地区「中学校用教科用図書」選定理由

教科種目名	発行者略称	選定理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や古典に親しませる工夫がある。 ・書く力や伝え合う力を身に付けさせる工夫がある。 ・中学生の時に読んでほしい題材が掲載されている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の使い分けが分かりやすい構成になっている。 ・日常の書式、活用のヒント等が分かりやすく取り上げられている。
社会 (地理的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習できる構成になっている。 ・地理的事象を、生徒が主体的に学習していく際の視点が示されている。 ・写真やグラフを豊富に活用し、知識の習得を図れるよう工夫されている。
社会 (歴史的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の流れをつかみやすいよう工夫されている。 ・郷土の偉人が多く掲載されている。 ・地理や公民と共通の資料が使用されている。 ・調べ学習が充実している。
社会 (公民的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・30年後のことが、生徒に見通せる構成になっている。 ・多面的に物事を捉え、思考力・表現力を養える内容である。
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥瞰図が見やすく、視覚的に捉えやすい。 ・色使いや濃淡がはっきりとしており、分かりやすく工夫されている。
数学	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートを使い方についてしっかり書かれており、生徒の学習に生かす工夫がされている。 ・生活に結び付いた課題が多い。 ・基礎・基本の習得に向けて、振り返りや学び直しがしやすくなっている。
理科	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心をひくコラムがある。 ・基礎から応用まで幅広く扱っている。
音楽 (一般)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心をひく資料を扱っている。 ・多様な音楽にふれられるように工夫されている。
音楽 (器楽合奏)	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・資料によって、演奏の手順が分かるよう工夫されている。 ・日本の伝統楽器のよさを知ることができるよう工夫されている。

美術	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・原寸大の写真を見開きページなどで掲載し、感性を豊かにする工夫がなされている。 ・同年代の生徒の作品を多く掲載する工夫がある。
保健体育	大修館	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフやオリンピック・パラリンピックにふれ、学習意欲をもたせる工夫がある。 ・自ら課題を発見し、解決することを通して、実生活に生かせる工夫をしている。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・実践例を用いて、状況に応じた安全への配慮がなされている。 ・ものづくりの実践的・体験的な活動が豊富に取り上げられている。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標が明記されていて、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。 ・社会の変化に対応した課題が設定されている。
英語	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校時の外国語活動の学習内容も記されており円滑な接続ができるように工夫されている。 ・目標がはっきりと掲げられ、生徒が学習内容を捉えやすい。 ・CAN-DOリストを用いて自己評価できるよう工夫されている。